

# 地方独立行政法人北海道立総合研究機構

## 海事職員採用試験募集要項

平成29年6月21日 札幌市北区北19条西11丁目

北海道立総合研究機構 電話 011-747-0055

地方独立行政法人北海道立総合研究機構は、平成22年4月に、幅広い研究分野を有する試験研究機関として北海道の総力を結集した試験研究や技術支援等を進め、自然環境の保全や道民の豊かな暮らしづくり、道内産業の振興に貢献することを目的に、農業、水産業、林業、工業、食品産業、環境、地質及び建築の各分野からなる22の試験研究機関を統合して設立した研究機関です。

本試験は、水産研究分野の試験調査船において水産資源等の調査及び運航業務に従事する職員を採用するための試験です。

なお、採用後の身分は地方独立行政法人北海道立総合研究機構の職員となります。  
(北海道職員ではありません。)

### 1 試験区分、採用予定数、主な業務内容及び採用時の勤務予定箇所

試験区分	採用予定数	主な業務内容	採用時の勤務予定箇所
通信	1名	・試験調査船等において試験研究に供する調査及び無線通信等を主体とした運航業務	・函館水産試験場 金星丸(函館市) ・釧路水産試験場 北辰丸(釧路市) ・稚内水産試験場 北洋丸(稚内市)
甲板	3名	・試験調査船等において試験研究に供する調査及び運航管理及び操船等を主体とした運航業務	
機関	募集は終了しました。		

※ 採用予定数は、欠員等の状況により変更となる場合があります。

※ 上記試験区分のうち、いずれか1つしか応募できません。また、申込受付後は試験区分の変更は認めません。

※ 採用後、採用時とは違う他の水産試験場(試験調査船)へ異動することがあります。

試験場の所在地については、当機構のホームページ(<http://www.hro.or.jp>)に記載しています。

### 2 試験日程、試験地等

試験区分	試験日	受付期限	試験地・会場	採用予定日
通信	<del>① 7月30日(日)</del> <del>② 9月17日(日)</del> <del>③ 10月29日(日)</del> <del>④ 11月26日(日)</del> ⑤ 平成30年1月14日(日)	<del>① 7月14日(金)</del> <del>② 8月25日(金)</del> <del>③ 10月6日(金)</del> <del>④ 11月2日(木)</del> ⑤ 12月22日(金)	札幌市 試験会場は、受験票でお知らせします。	平成30年4月1日 (ただし、既に学校等を卒業している方等は、平成29年度中に採用される場合もあります。)
甲板	<del>① 9月17日(日)</del> <del>② 11月26日(日)</del> ③ 平成30年1月14日(日)	<del>① 8月25日(金)</del> <del>② 11月2日(木)</del> ③ 12月22日(金)		
機関				

※ それぞれの受付期限前でも採用者数が採用予定数に達した時点で、以降の募集を中止します。

※ 上記試験日のうち、いずれか1つを選択し応募してください。

※ 試験当日は、会場に9時00分着席です。

### 3 求める人材、受験資格

試験区分	求める人材	受験資格
通信	水産及び船舶の無線通信等に関する基礎的な知識を有する者	昭和48年4月2日以降に生まれた者で、第三級以上の海上無線通信士の資格を既に取得している者若しくは採用予定日までに取得する見込みの者
甲板	水産及び船舶の航行・操船等に関する基礎的な知識を有する者	昭和58年4月2日以降に生まれた者で、五級以上の海技士（航海）資格を既に取得している者、採用予定日までに取得する見込みの者、筆記試験に合格（一部科目の合格を含む）している者又は船舶職員養成施設の課程を修了（見込者を含む）し、筆記試験が免除される者（見込者を含む）
機関	水産及び船舶の機関等に関する基礎的な知識を有する者	昭和58年4月2日以降に生まれた者で、 <del>五級以上の海技士（機関）</del> 〔内燃機関の限定を含む〕資格を既に取得している者、採用予定日までに取得する見込みの者、筆記試験に合格（一部科目の合格を含む）している者又は船舶職員養成施設の課程を修了（見込者を含む）し筆記試験が免除される者（見込者を含む）

※ 試験区分によって受験資格が異なりますので、ご注意の上応募してください。

※ 次に該当する者は、受験できません。

ア 成年被後見人、被保佐人（準禁治産者を含む。）

イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

ウ 北海道職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者

エ 日本国憲法施行の日（昭和22年5月3日）以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

なお、日本国籍を有しない方も受験できますが、採用日において、法令により永住が認められていない人は採用されません。

### 4 試験方法、内容

試験区分	試験種目	解答時間	内 容
全試験区分	教 養 試 験 (択一式・5題)	1 時間	当機構の試験調査船職員として必要な水産の基礎知識についての筆記試験（出題分野は下表のとおり）
	人 物 試 験	個別面接及び適性検査	

#### 教養試験出題分野一覧表

出 題 分 野
水産一般（北海道に生息する主な水産生物の生態・漁業・利用）、（漁業の種類と資源管理）、（海の環境と気象）、（食生活と水産物）、（漁船の種類、装備、乗組員、資格、運航、事故防止）、（結索、編網、水泳）、（機関の種類、構造、始動・停止、点検）、（海洋観測・測量システム）、（船舶運航の計測・制御・通信システム） ※高等学校卒業程度

### 5 合格者の決定方法

試験の結果により決定します。

### 6 合格発表

**合格者の発表は受験番号のみにより行い、合格者の受験番号を当機構本部入口の掲示板に掲示するほか、当機構ホームページ上にも掲示します。また、合格者には合格通知書を送付します。**

なお、電話による照会には応じません。

**合格した方で、合格通知書が発表の日から2日経っても到着しない場合には、速やかに、北海道立総合研究機構本部経営企画部経営企画グループ（電話 011-747-0055）にお問い合わせください。**

なお、辞退等の理由により合格者を採用できなくなった場合は、第2次試験受験者のうち成績が上位である者を合格者として追加することがあります。

○合格発表日 試験日から概ね2週間後（発表日は、試験日にお知らせします。）

## 7 試験結果の開示について

この試験の結果については、『地方独立行政法人北海道立総合研究機構口頭による開示請求の開示要綱』の規定により、下表のとおり口頭で開示を請求することができます。

なお、電話、はがき等による請求では開示できませんので、受験者本人が、本人であることを証明する書類（運転免許証、健康保険の被保険者証、旅券、学生証等）を持参のうえ、午前8時45分から午後5時までの間に次の開示場所まで直接お越しください。（土・日曜日及び祝日は受付していません。）

開示請求できる人	開示期間	開示内容	開示場所
採用試験 受験者	合格発表日から 1か月間	個別得点及び その成績順位	北海道札幌市北区北19条西11丁目 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 本部経営企画部経営企画グループ

## 8 採用時期

採用時期は、原則として平成30年4月1日です。（ただし、欠員の状況により既に学校等を卒業している方等は、平成29年度中に採用される場合があります。なお、受験者が採用日を指定することはできません。）

ただし、本試験に合格しても、健康診断等で就業が困難と判断された場合又は採用時期までに上記3の受験資格欄に定める資格を取得していない場合（「甲板」及び「機関」においては、海技士国家試験の筆記試験に合格している場合又は船舶職員養成施設の課程を修了している場合を除く。）は採用されません。

## 9 業務内容等

	通信	甲板	機関
主な業務内容	<b>【共通】</b> ・水産資源や海洋環境等の調査（漁獲調査、サンプリング、データ管理、調査機器等の保守点検・整備） ・当直（宿日直）や出入港作業などの運航業務		
	<b>【通信】</b> ・無線通信、無線通信関係機械などの保守及び整備	<b>【甲板】</b> ・運航管理及び操船、船体部・航海計器・甲板機器などの保守及び整備	<b>【機関】</b> ・機関の運転、燃料その他の機関用の油類の管理及び補給、機関関係機械などの保守及び整備
勤務時間	勤務時間は、法令及び規則に基づき、航海中においては1日につき8時間、1週間につき56時間、停泊中においては1日につき7時間45分、1週間につき38時間45分となり、かつ、52週を平均して1週間の労働時間が平均38時間45分と規定しております。 なお、勤務時間の割振りについては、次に記載されているものを基準とし、船長が別に定めます。  〈航海中〉（一回の航海期間は、およそ一週間から二週間程度） ○航海当直従事者（3直制勤務） A 勤務時間 0:00～4:00、12:00～16:00 B 勤務時間 4:00～8:00、16:00～20:00 C 勤務時間 8:00～12:00、20:00～24:00 〈航海中以外〉 ○停泊宿日直従事者 D 勤務時間 8:45～17:30 E 勤務時間 17:30～8:45 ○停泊宿日直従事者以外の者 F 勤務時間 8:45～12:00、13:00～17:30		
休日	土曜日、日曜日、祝日及び12月29日から1月3日まで。ただし休日は、定けい港停泊中に付与します。		
	※法令や北海道職員の服務制度に準じた休暇制度を設けています。		

10 給 与（次の額は、平成 29 年 4 月 1 日現在における新卒者の場合の例です。）

学 歴	初 任 給	諸 手 当
大学卒	223,600 円	期末手当・勤勉手当（賞与）、通勤手当、住居手当、扶養手当、寒冷地手当等の諸手当がそれぞれの支給条件に応じて支給されます。
短大卒	193,900 円	
高校卒	169,900 円	

- ※ 初任給は、採用前の学歴や経歴などを考慮のうえ、決定されます。  
なお、当機構では、社会一般の情勢等に応じた給与の見直しを適宜行っています。
- ※ 社会保険については、地方職員共済組合に加入することとなります。

11 申込方法

次の書類を、上記 2 の受付期限までに北海道立総合研究機構本部経営企画部経営企画グループ（〒060-0819 北海道札幌市北区北 19 条西 11 丁目）あて持参（**期限：当日 17 時**）又は郵送（**期限日消印有効**）により提出してください。

なお、郵送の場合は、**必ず簡易書留**で送付してください。

- (1) 申込書（指定の様式に黒ペン又は黒ボールペンで明瞭に**手書するか、又はパソコンで作成**し、指定の場所に写真を貼付してください。）  
なお、申込みに当たっては、「**希望する試験区分（[通信]、「甲板」又は「機関」）を1つだけ選択し「○」で囲んで下さい。また、試験日についても1つだけ選択し「○」で囲んでください。**」
- (2) 返信用封筒（受験票の送付先を明記し、82 円切手を貼付した長形 3 号（12.0 cm × 23.5 cm））
- (3) 上記 3 の受験資格に関する免許証等の写し（下表参照）
- (4) **試験日の一週間前までに受験票が届かないときは、北海道立総合研究機構本部経営企画部経営企画グループ（電話 011-747-0055）に必ずお問い合わせください。**  
※ 受験の際は、必ず受験票の所定の欄に 6 か月以内に撮影した脱帽、上半身、正面向きの縦 4 cm × 横 3 cm の写真を貼ってきてください。

試験区分	資格既取得者	資格未取得者のうち次のいずれかの者		
		試験一部科目合格者	認定学校等の卒業者若しくは見込者	今後資格取得予定の者
通信	無線従事者 免許証 〔第三級以上の 海上無線通信士〕	一部科目合格がわかる書類	卒業（見込み）証明書	書類なし

試験区分	資格既取得者	資格未取得者のうち次のいずれかの者		
		筆記試験合格者	筆記試験一部科目合格者	船舶職員養成施設の課程修了者若しくは見込者
甲板	海技免状 〔五級以上の 海技士（航海）〕	筆記試験 合格証明書	一部科目合格 がわかる書類	課程修了（見込み） 証明書
機関	海技免状 〔五級以上の 海技士（機関） 〔内燃機関の限定を含む〕〕			

12 その他

- (1) 申込書に記載された個人情報、本試験以外の目的には使用しません。
- (2) 採用の可否に関わらず、応募書類は返却いたしません。
- (3) 収集した個人情報は、北海道個人情報保護条例に基づき適切に管理します。
- (4) 申込後に、本試験を受験しない場合はその旨ご連絡ください。